

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ゼプリオン水懸筋注 75mg・100mg・150mg シリンジ	劇	市販直後調査 平成 25 年 11 月～平成 26 年 5 月
(英名)	XEPLION Aqueous Suspension for IM Injection		
(規格・含有量)	75 mg:1 シリンジ中、パリペリドンパルミチン酸エステル(パリペリドン)として 117mg(75mg)を含有 100mg:1 シリンジ中、パリペリドンパルミチン酸エステル(パリペリドン)として 156mg(100mg)を含有 150mg:1 シリンジ中、パリペリドンパルミチン酸エステル(パリペリドン)として 234mg (150mg)を含有		
(一般名)	パリペリドンパルミチン酸エステル		
(メーカー名)	ヤンセン		
【薬価収載日】	2013 年 11 月		
【薬価】	75 mg 1 キット:39,531 円、100mg1 キット:48,083 円、150mg1 キット:63,368 円		
【薬効コード】	871179		
【薬効分類名】	持効性抗精神病剤		
効能・効果	統合失調症		
用法・用量	通常、成人にはパリペリドンとして初回 150mg、1 週後に 2 回目 100mg を三角筋内に投与する。その後は 4 週に 1 回、パリペリドンとして 75mg を三角筋又は臀部筋内に投与する。なお、患者の症状及び忍容性に応じて、パリペリドンとして 25mg から 150mg の範囲で適宜増減するが、増量は 1 回あたりパリペリドンとして 50mg を超えないこと。		
禁忌	①昏睡状態の患者[昏睡状態を悪化させるおそれがある。] ②バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者[中枢神経抑制作用が増強されることがある。] ③アドレナリン、クロザピンを投与中の患者 ④本剤の成分、パリペリドン及びピリスペリドンに対し過敏症の既往歴のある患者 ⑤中等度から重度の腎機能障害患者(クレアチニン・クリアランス 50mL/分未満)		
相互作用	本剤他剤作用増強 中枢神経抑制剤(バルビツール酸誘導体等)、降圧薬、アルコール 本剤作用減弱 アドレナリン(ボスミン)、カルバマゼピン 本剤他剤作用減弱 ドパミン作動薬 その他 クロザピン(クロザリル)		
副作用	重大な副作用 悪性症候群(Syndrome malin)、遅発性ジスキネジア、麻痺性イレウス、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)、肝機能障害、黄疸(頻度不明)、横紋筋融解症、不整脈、脳血管障害、高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡(頻度不明)、低血糖、無顆粒球症、白血球減少、肺塞栓症、深部静脈血栓症、持続勃起症 その他 高プロラクチン血症、不眠症、精神症状、アカシジア、注射部位疼痛 等		

(薬品名)	レルベア 100・200 エリプタ 14 吸入用	市販直後調査 平成 25 年 12 月～平成 26 年 6 月
(英名)	RELVAR ELLIPTA	
(規格・含有量)	100 エリプタ:1 プリスター中、ビランテロールトリフェニル酢酸塩 40μ g(ビランテロールとして 25μ g)・フルチカゾンフランカルボン酸エステル 100μ g を含有 200 エリプタ:1 プリスター中、ビランテロールトリフェニル酢酸塩 40μ g(ビランテロールとして 25μ g)・フルチカゾンフランカルボン酸エステル 200μ g を含有	
(一般名)	ビランテロールトリフェニル酢酸塩・フルチカゾンフランカルボン酸エステル	
(メーカー名)	グラクソ	
【薬価収載日】	2013 年 11 月	
【薬価】	100 エリプタ 1 キット:2,816.80 円、200 エリプタ 1 キット:3,143.90 円	
【薬効コード】	87229	
【薬効分類名】	喘息治療配合剤	

効能・効果	気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 β_2 刺激剤の併用が必要な場合)
用法・用量	通常、成人にはレルベア 100 エリプタ 1 吸入(ビランテロールとして 25 μ g 及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして 100 μ g)を 1 日 1 回吸入投与する。 なお、症状に応じてレルベア 200 エリプタ 1 吸入(ビランテロールとして 25 μ g 及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして 200 μ g)を 1 日 1 回吸入投与する。
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症の患者[ステロイドの作用により症状を増悪するおそれがある。]
相互作用	本剤作用増強 CYP3A4阻害作用を有する薬剤(リトナビル、ケトコナゾール(経口剤:国内未発売)、エリスロマイシン等) 本剤作用減弱 β 遮断薬 本剤他剤副作用増強 QT間隔延長を起こすことが知られている薬剤(抗不整脈剤、三環系抗うつ剤等)
副作用	重大な副作用 アナフィラキシー反応 その他 口腔咽頭カンジダ症、発声障害、上気道感染、期外収縮、口腔咽頭痛 等

削除医薬品通知

●2月3日より

パルネチール細粒 50%	削除
アドエア 100 ディスカス 60 吸入用	レルベア長期投与可能時に削除予定
アドエア 250 ディスカス 60 吸入用	レルベア長期投与可能時に削除予定

医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
プレミネント配合錠 LD	プレミネント配合錠

適応追加通知

5-FU 注 250mg 1000mg	【効能・効果】 以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法 頭頸部癌 レボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法 結腸・直腸癌、 治癒切除不能な膵癌 【用法・用量】 5. 治癒切除不能な膵癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法 通常、成人にはレボホリナートとして 1 回 200mg/m ² (体表面積)を 2 時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして 400mg/m ² (体表面積)を静脈内注射、さらにフルオロウラシルとして 2400mg/m ² (体表面積)を 46 時間持続静注する。これを 2 週間ごとに繰り返す。なお、年齢、患者の状態などにより適宜減量する。
------------------------	---

ドルミカム注射液 10 mg

【効能・効果】

歯科・口腔外科領域における手術及び処置時の鎮静

【用法・用量】

通常、成人には、初回投与としてミダゾラム 1～2mg をできるだけ緩徐に(1～2mg/分) 静脈内に注射し、必要に応じて 0.5～1mg を少なくとも 2 分以上の間隔を空けて、できるだけ緩徐に(1～2mg/分) 追加投与する。但し、初回の目標鎮静レベルに至るまでの、初回投与及び追加投与の総量は 5mg までとする。